

「ヘモグロビンA1c」 検査内容および採取容器変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さてこの度、ヘモグロビンA1cの測定試薬を現行のラテックスを用いた免疫法から、酵素法による試薬に変更致します。新旧二法の相関は良好で、基準値の変更はございません。

また、同時に分析装置の変更に伴い、HbA1cとグルコース（血糖）が同一容器での測定が可能になり、これまでHbA1cは容器番号13番の血液学容器でのご出検をお願いして参りましたが、血糖検査と同一容器に変更させていただきます。なお、本変更に伴い、容器番号04番の「グルコース（血糖）用容器」は「グルコース・HbA1c用容器」に変更いたします。

先生方にはお手数をお掛けしますが、何卒ご理解・ご協力の程お願い申し上げます。

敬具

記

変更内容

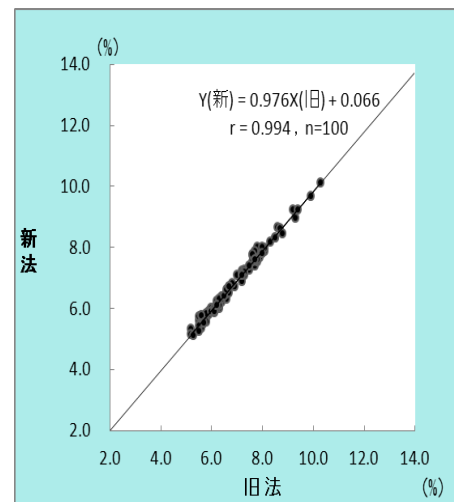
●「0517」HbA1c

変更内容	新	旧
検査方法	酵素法 [LSIメディエンス]	ラテックス免疫凝集法 [協和メテックス]
測定装置	JCA-BM9130 [日本電子]	DM-JACK [協和メテックス]
容器	容器番号：04番 グルコース・HbA1c用容器	容器番号：13番 血液学容器

容器番号：04番 ニプロ社製容器の変更

変更内容	新	旧
採血管名	血糖・HbA1c検査(FN)	血糖検査(FH)
添加剤	NaF + EDTA-2Na	NaF + ヘパリンNa
備考	*採取量（2mL）の変更はございません。 *新旧容器で血糖、HbA1cの測定値に変動はございません。	

【新旧二法の相関】



変更期日

●平成28年7月1日（金）受付分より

※容器番号04番のニプロ社製容器につきましては、6月初旬以降お手元の在庫がなくなり次第、順次切り替えさせていただきます。尚、旧容器（血糖検査FH）は7月1日以降も有効期限内はお使いいただけます。